

本資料は、大学や短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程などに在学している学生に対して、就職などで社会に出る前に理解しておいて欲しい、働く上でのルールについて教えるにあたり、必ずしも労働法の専門家ではない教員や職員の方でも、学生に対して分かりやすく説明できるよう作成したものです。

学生が社会と接触することとなる局面を想定し、各校での説明内容や時間の都合に合わせてテーマの内容を取捨選択したり、必要に応じて資料を組み合わせたりして使えるよう、スライドをパワーポイントで作成し、Web上に公開しています。

例えば、新入生の入学ガイダンスの際に、テーマ1の資料をそのまま使用して説明していただければ、学生に対して在学中のアルバイトに関する注意喚起を行えますし、説明を担当される教職員の方におかれましては、現場の状況に応じて事例を追加する等、パワーポイントを自由に加除して使用することも可能です。なお、厚生労働省のオリジナルの原稿については、PDFでホームページに掲載しますので、併せてご参照下さい。

※掲載ページ

## 「働くこと」と「労働法」

～大学・短大・高専・専門学校生等に教えるための手引き～

<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/daigakumukeshiryoku/index.html>

各テーマの概要は以下のとおりです。

	テーマ名	概要
テーマ0	「働くこと」を考えよう	「働くこと」をポジティブに捉えるために、人はなぜ働くのかを考えさせる。そして働くことと法がどのように関わっているかを説明。
テーマ1	アルバイトを始める前の注意点	学生が実際にアルバイトを経験するにあたって、注意すべき事項や、アルバイトで実際に起こりがちな具体的事例について説明。さらに、外国留学生のアルバイトについての留意点も収録。
テーマ2	働き始めておかしいな、と気付いたら	実際に働き始めた際に「ここがおかしい」という気付きを得るために、具体的な事例を交えて、その対処法について説明。
テーマ3	インターンシップを行うにあたって	インターンシップの意義や、事例等を交え、インターンシップに参加するにあたって留意すべき法律や、相談先について解説。
テーマ4	就職活動の際の留意点	就職活動において、注意すべき点や、就職活動で起こりがちなトラブルや、その対処法について解説。
テーマ5	契約と労働条件	労働契約の締結にあたって、その契約の最低基準となる法律について詳しく説明するとともに、○×クイズ形式を入れ事例を解説。
テーマ6	働きすぎと心身の健康	近年社会問題となっている過労死等を取り扱うテーマとし、自身が就職した会社にそのような兆候が見られた場合の対処法等を説明。
テーマ7	多様な働き方	様々な働き方について触れ、それぞれの働き方について、どのように労働関係法令が関係してくるのかを説明。
テーマ8	働き続けやすさとは	働いている間に起こる様々なライフイベントについて、それぞれのライフイベントに関係する法律や施策について解説し、働き続けるためにどのような施策を利用できるのか解説。
コラム	労働法教育にも役立つピアサポート活動	一部の大学で行われている、学生同士の学び合いであるピアサポートの事例について、実施にあたってのポイントも併せて説明。

## 第1章：本資料の特色と使い方

本資料を活用し、以上のテーマを学生に説明するにあたっては、例えば、以下のタイミングが考えられます。

実施のタイミング	内容例
新入学時のガイダンス ▶	テーマ0（「働くこと」を考えよう） テーマ1（アルバイトを始める前の注意点）
基礎・教養時 ▶	テーマ0（「働くこと」を考えよう） テーマ5（契約と労働条件） テーマ6（働きすぎと心身の健康）
キャリア教育時 ▶	テーマ5（契約と労働条件） テーマ6（働きすぎと心身の健康） テーマ7（多様な働き方） テーマ8（働き続けやすさとは）
インターンシップ開始時 ▶	テーマ3（インターンシップを行うにあたって）
就職活動開始前後 ▶	テーマ4（就職活動の際の留意点） テーマ8（働き続けやすさとは）
就職が決まってから、卒業するまでの間 ▶	テーマ2（働き始めておかしいな、と気付いたら）

以上の他にも、各大学や短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程等のカリキュラム等に応じて、本資料を臨機応変に活用して頂ければ幸いです。